

データサイエンティスト 積極採用中！

ALBERTは、日本屈指のデータサイエンスカンパニーとして、ビッグデータアナリティクス領域において最適なソリューションを提供しています。

▶ インターン/アルバイト

ビジネスの現場で実データの分析経験を積むことができます。

❖ 夏季インターンシップ 実施予定 ❖

- ・ データ分析実務インターン
(応募締切: 6月25日(金))
- ・ ALBERT社内勉強会体験
(応募締切: 7月30日(金))

▶ 新卒採用

ファーストキャリアとして、データサイエンティストになりたい方を募集しています。

▶ キャリア採用

データサイエンティストを始め、様々な職種を募集しています。

各採用のお問い合わせ、ご応募は
下段QRコード(採用サイト)から！

▶ BUSINESS



ビッグデータ分析及び
分析コンサルティング



AIアルゴリズム開発と
システム導入



AIを用いた独自
プロダクトの提供



データサイエンティスト
育成支援

▶ CULTURE



データサイエンティストによる
勉強会の様子

ALBERTでは、データサイエンティストによる知見共有記事、プロジェクト紹介や社員インタビュー等、当社理解に役立つコンテンツを掲載しています。ここでは、記事を一部抜粋してご紹介します。

ALBERT Official Blog

三次元空間のニューラルな表現とNeRF

今回はニューラルネットワークによる三次元空間表現手法の紹介とNeRF: Representing Scenes as Neural Radiance Fields for View Synthesisという論文の解説です。PyTorchによる再現実装も公開しているのでご覧ください。

現実世界の意味と構造を理解することは、人工知能研究の大きな目標の一つです。理解するとはどういうことかといえば、この場合は、何らかの行動計画に用立てることのできる良い「表現」を獲得すること、と考えることができます。という、表現とは何かという問いが提起されるかもしれませんが、ここでは、それを解釈する何らかの処理系の存在するもの、くらいに定義しておくことにします。現実を描写した文章は人間にとって表現であり、バイト列は計算機にとって表現です。

たとえば、ある画像にたいして「リンゴ」とラベルを付けておきます。ここで文字列「リンゴ」は画像のひとつの表現であって、これを使えばコンピュータ上に保存された膨大な画像の中からリンゴの写っているものを検索して行うことができます。これは、画像をただの色(ピクセル値)の集合(もちろんこれもひとつの表現ではありません)とみなしていたのでは不可能な仕事です、というのも一般にコンピュータは画像の内容を理解できないからです。画像の意味内容を文字列というコンピュータにとって馴染深い表現に人の手で変換しておくことによってはじめて、コンピュータは目当ての画像を探して行うことができます。画像をラベルという表現に変換できるのは人間の現実理解力だけであり、それがあってはじめて、コンピュータは処理を開始することができる、それゆえにコンピュータの性能が向上しようと、入力作業は人間が行う必要がありました。

ところが近年、深層ニューラルネットワークの大躍進によって状況は変わってきました。コンピュータ自身が、画像をラベルに変換できるようになったのです。これでも人間がぼちぼちとラベルを付けてやる必要はありません。それどころか、画像中の物体を検出して位置座標に変換したり、話し言葉音声を書き起こし文に変換したり、平面画像を深度画像に変換したりと、かつて人間の専売特許であった現実理解力を抜きにしては行えないような仕事を、コンピュータがこなすようになってきています。たいへん素晴らしいことだと思います。

MORE ▶



CROSS TALK

× 東京海上ホールディングス

実践的演習がカギ。東京海上が取り組む 日本最高レベルのデータサイエンティスト育成

「安心・安全」の領域において、お客様と社会のあらゆる「いざ」を支える存在であり続けるという強い目的意識をもって、最先端のデジタル技術の活用に取り組む東京海上ホールディングス株式会社。東京海上グループのデジタルトランスフォーメーションを担うデータサイエンティストの育成を目的として、グループ専用の育成プログラム「Data Science Hill Climb」の運用を開始しています。「Data Science Hill Climb」は、保険引受効率化や事故予防・軽減などを目的として、保険業務を理解した上で独自の最適なアルゴリズムを適用できるデータサイエンティストを社内で育成するプログラムです。今回は、「Data Science Hill Climb」のデータサイエンス演習を担当したALBERTの巢山と羽山がお話を伺いました。

MORE ▶



INTERVIEW

新卒データアナリスト

分野をまたいで知見を共有、
活用できることがALBERTの強み。



◆ 大学で学んでいたことについて教えてください。

応用数学を専攻していました。私が所属していた現象数理学科では、数学を用いて現象を解明することを目指し、解析学や統計学に関するカリキュラムがありました。具体的には微分方程式を用いた数理モデルとそのシミュレーション、数理生物学や物理数学、数理統計学やベイズ統計、機械学習などについて勉強していました。研究室では「雨量レーダーを用いた深層学習による降雨量予測」に取り組んでいました。

◆ 現在はどんな仕事をしていますか？

動画内の物体を検出、追跡するアルゴリズムの開発とその精度向上に関する業務を行っています。具体的には、動画に映る対象の位置情報などを推定するために、物体追跡や深度推定などの技術を活用したり、推定が難しい箇所に対して対策を考えて改良したりしています。

MORE ▶



株式会社ALBERT

TEL: 03-5937-1610 (代表) E-mail: recruit@albert2005.co.jp

本社 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー 15F

東海支社 〒451-6090 愛知県名古屋市中区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー 8F

ALBERT採用サイト



募集職種



採用Twitter

